

令和5年度 大麻まちづくりセンターの主な取組

事業名

まちづくり組織再稼働支援及びまちづくり推進委員会との連携

P

●事業実施に至った背景、目的

令和4年9月9日大麻地区自治会・・・大麻地区まちづくり推進委員会再稼働の声が上がる。
令和4年12月13日大麻地区自治会・・・大麻地区まちづくり推進委員会再稼働準備委員会立上げ。
令和5年1月20日からまちづくり計画策定委員会開催し、まちづくり計画(案)・R5年度事業計画(案)・予算計画(案)の作成に取り組む。令和5年度第一四半期を目途に再稼働を目指す。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

令和5年4月21日 大麻地区まちづくり推進委員会総会

大麻地区まちづくり計画(案)、令和5年度事業計画(案)及び令和5年度収支予算書(案)承認。花のあるまちづくり事業、大麻地区ガイドブック作成プロジェクト、コミュニティワゴン車事業を追加。

令和5年5月 大麻地区まちづくり推進委員会再稼働

D

●事業の概要

大麻地区まちづくり推進委員会との連携

- ・花のあるまちづくり事業・・・令和5年4月29日種まき 令和6年1月21日(予定日)コスモス畑整備 令和6年3月19日(予定日)2回目のコスモス畑整備
- ・大麻地区ガイドブック作成プロジェクト・・・令和5年9月29日プロジェクト会議を開催しガイドブックに掲載する史跡等の候補地選定 令和5年11月5日史跡等現地視察を実施(9ヶ所) 令和6年2月(予定)2回目の史跡等現地視察
- ・コミュニティワゴン車事業・・・買い物ツアーを毎週水曜日に実施

C

●事業実施後の振り返り

- ・花のあるまちづくり事業・・・夏時期の猛暑により草抜き等の整備があまり出来なかった。
- ・大麻地区ガイドブック作成プロジェクト・・・無理のないスケジュールで今後も継続する。
- ・コミュニティワゴン車事業・・・運行者の高齢化に伴い今後、担い手不足が引続き課題である。

A

●令和6年度以降の方向性

当地区の大きな現実問題は、少子高齢化であり、引続き大麻地区まちづくり推進委員会と連携して、安心して住み続けたいまちづくりの構築に努める。そうした背景の中、令和6年度は折居駅 100 周年記念事業を一つの柱として地域の活性化を図る。

